EGF配合の口腔化粧品などで モニタリング呼びかけ

日本EGF協会

特定非営利活動法人　日本EGF協会（http://egf-association.jp/　電話06－6245－3259）では、組み換え遺伝子技術で生産されたヒトEGF、FGFを配合した化粧品の品質保証、認定、消費者への啓蒙活動を行っているが、このほど、協会会員が開発、製造したhEGF配合の口腔化粧品及び健康飲料の新製品を、広く医師、歯科医師に呼びかけて、モニタリングを行なうことになった。対象となる被験者は、口腔化粧品では口内炎で悩む患者、また、飲料では食道や胃腸などの潰瘍をもつ患者となる。50人限定で、口腔歯科領域、消化器系の専門医師らにサンプルを提供し、その有効性を確認することにしている。

口内炎、胃潰瘍などにEGFの生理活性（上皮成長因子）が有効か？を検証

歯科口腔領域の歯科医、消化器系領域のドクターなど対象に

50人限定、サンプル提供

皮膚再生細胞因子EGFは、アンチエイジングスキンケア化粧品としてその成果を背景に、認知度、人気が高まっているが、EGF本来のスキンケア以外の生理活性については、あまり知られていない。EGFは上皮成長因子であり、上皮とは口腔内、食道、胃、小腸、大腸の壁面もすべて含まれるため、EGFの果たす役割は大きい。

最近の傾向として、食事の際のそしゃく回数が減っていることで唾液の分泌が減り、本来唾液に含まれているEGFが消化器官にいきわたらず、このことが原因で口腔内アフタ（口内炎）や胃潰瘍、大腸炎が出来やすくなっているという。特に原因不明とされる膠原病（潰瘍性大腸炎、クローン病、腸管ベーチェットなど）の治癒には欠かせないはずのEGFが唾液分泌不足によりさらに難治性を高めていると考えられている。

そこで、協会が、EGF商品では初の試みとなるヒト臨床試験を、モニタリング試験として実施することになった。

協会会員が開発、製造した、遺伝子組み換えhEGF配合の口腔化粧品及び健康飲料を、広く医師、歯科医師に呼びかけて、モニタリングを行なうことになった。実際の商品と同じ配合成分、内容量でモニタリングをして、効果測定を行うことになる。

モニタリング実施の概要は、

①モニタリング商品：EGF配合口腔化粧品　ミストスプレー付き　8mL成分：水、ローズ水、グリセリン、ヒトオリゴペプチド－1（hEGF）、ヒアルロン酸　他　hEGF配合量：6000pg（6μg）／8mL　配合　モニタリングの目的：口腔内アフタ（口内炎）の治癒、歯肉炎の治癒　使用方法：1日2・3回1～2プッシュを口腔内にスプレーする、約30日分の商品提供　特に希望する被験者の条件：再発性口腔内アフタでお悩みの方。

希望モニタリング人数、期間：50名　1ヶ月もしくは治癒するまでのどちらか短い期間

②モニタリング商品：EGF配合健康飲料（グレープ味）50mL×10本　成分：ヒトオリゴペプチド－1（hEGF）、コラーゲン、ヒアルロン酸、ビタミンB群　他　hEGF配合量：2000pg（2μg）／50mL　配合　モニタリングの目的：食道の潰瘍、逆流性胃炎、胃潰瘍、大腸の潰瘍等の治癒　使用方法：空腹時を避け、1日1本の飲用、1ケース10本で10日分

特に希望する被験者の条件：消化器官に潰瘍のある方　希望モニタリング人数、期間：50名　20日間もしくは治癒するまでのどちらか短い期間

以上が、モニタリング実施の内容となるが、協会では50人限定で、とくに口腔歯科領域、消化器系の専門医師らにサンプルを提供し、その有効性を確認することにしている。

（本紙差込ビラに、希望医師、歯科医からの申込書）

【EGFについて】

53のアミノ酸を含むポリペプチドの構造をもち、生体内で形成されるタンパク質の一種「EGF」は、皮膚の表面にある受容体と結びついて新たな細胞の生産を促進する。

老化と共に減少するこの生理活性物質は、損傷した皮膚を修復したり、紫外線などの有害物質から皮膚を守る重要なグロースファクターである。

発見者コーエン博士は、このEGFをやけどによる皮膚移植や角膜切開の回復など、いわば再生医療に活用の道を拓いたことでも知られている。しかし、医療分野での応用だったことから、その成分原料は1g8000万円と驚くほどのコストがかかっていた。そして今、その後の製造技術の改良によってコストパフォーマンスを実現、化粧品への配合・添加が可能になった。

しかし、一方でEGFブームに便乗した虚偽、不当表示商品が一部出回っていることから、第三者機関による検証、情報公開が始まった。それが日本EGF協会で、専門家や医療関係者などと連携を取りながら第三者的な視点で検証することにより、消費者に正確で、安全かつ有益なEGFの情報を提供している。

また、協会では、EGFやその化粧品の正しい普及啓発のために講演を行なうほか、公正な機関としてEGF原料の品質、生理活性の定量などを検証し、協会認定の品質保証と認定マークを与える。協会のホームページでは、この検証によって認定された化粧品とメーカー一覧を掲載している。

EGF原料は品質、定量測定をするにあたって、統一した原料規格を協会側は指し示している（医薬品レベルの製造環境を持ち、バイオ発酵技術によって抽出原料を精製、厳格な分析管理体制を敷く製造拠点を中国上海に構える）が、公正な情報開示をモットーにしていることから、他の原料供給を行なうメーカーからの検査・分析依頼も協会では行なう。

【EGFの細胞再生のメカニズムと臨床データ】

EGFは、表皮の細胞中の特定の受容体と結合、細胞に情報を伝達するとph値およびフリーのCa＋濃度が変化して、解糖およびタンパク質合成が促進される。そしてその際いくつかの遺伝子の転写を促進して、その結果DNA複製と細胞増殖が行なわれる。

EGFの代表的な臨床データは、米・ブラウン博士によるものでEGF配合クリームを32～62歳の12人の被験者に60日間連続投与した結果、細胞量を劇的に増加させることが立証されている。その成長率は平均284％の促進をみた。このデータは博士によって、米パテントを取得している。